



高崎市議会



SHINPU KAIHO

令和2年秋号

発行所 高崎市議会新風会広報局
発行責任 新風会広報局
〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1
新風会ホームページ
http://www.shinpuikai.com/

新風会からの
ごあいさつ

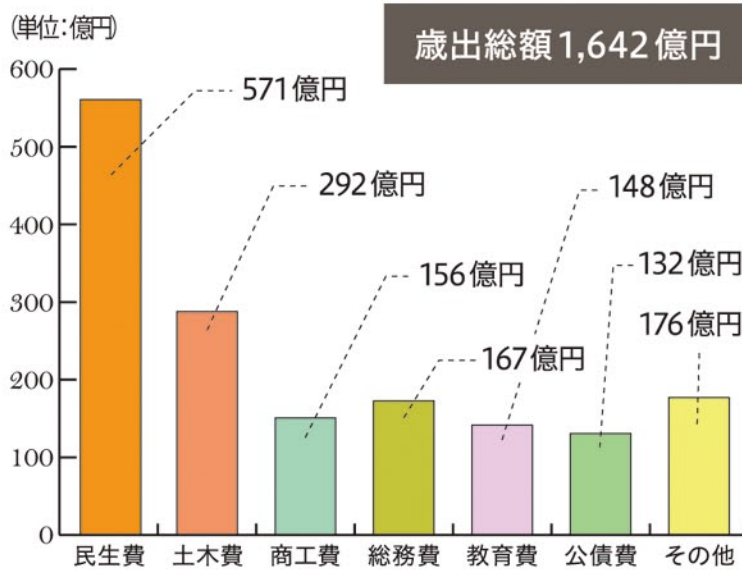
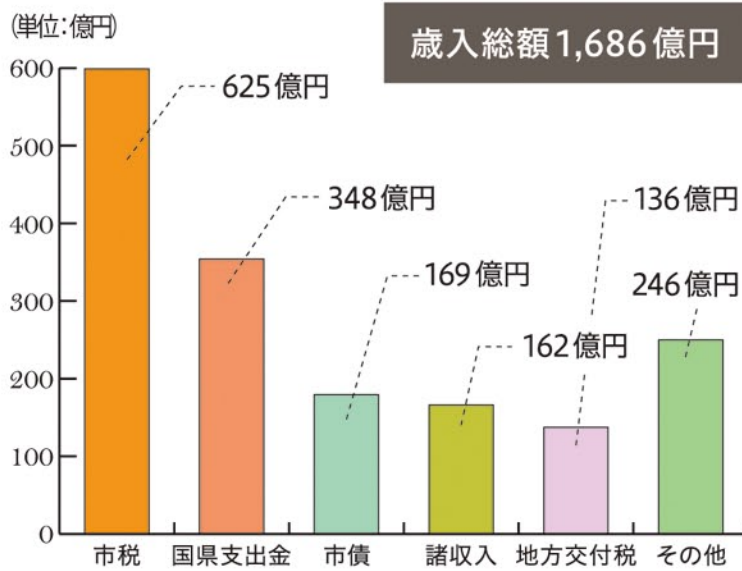
新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として大変な状況が続いている方も多くいらっしゃる事
と思います。そんな中でも、3密を避ける形で、会議
やイベントなどが行われたり、インターネットを活用
したりリモートでの集会が開催されたりなど、新しい生
活様式を模索する取り組みが本市内の様々などところ
で行われている事が確認できます。
これまで経験した事のない大変な状況に立たされ
ている本市でございますが、ただその状況を見て過ご

すだけではなく、試行錯誤しながらも、打開策や新し
い可能性を模索し、必要な変化を起こさなければいけ
ないという命題は、我々市議会にとっても、本市行政
にとっても、共通した命題であります。一刻も早く、
市民の皆様の穏やかな暮らしを取り戻せるよう、今後
もみなさまの声と共に、全力で邁進して参りたいと思
います。
寒さも厳しくなって参りますので、みなさまにおか
れましては、何卒「自愛のほどお願い申し上げます。

令和2年9月定例会の報告

9月11日から10月2日まで第4回定例会が開
催された。定例会では令和元年度の決算認定、
令和2年度補正予算等議案等19件、報告2件、同
意3件、請願1件(不採択)、意見書3件が審議さ
れ、議案・意見書については原案可決となった。

一般会計決算報告



令和2年度一般会計補正予算
(第6号)

Table with 2 columns: 補正予算総額 (23億8,929万円) and 主な歳出 (減債基金積立金 3億円, 放課後児童健全育成事業 1億1,840万円, etc.)

令和2年度一般会計補正予算
(第7号)

Table with 2 columns: 補正予算総額 (467万円) and 主な歳出 (果樹園地周辺 防犯カメラ設置委託料 460万円)

賛成討論

定例議会最終日10月2日に、新風会を代
表して飯塚邦広議員が賛成討論を行った。
上程された19議案のうち、議案第98号令和
元年度高崎市一般会計及び特別会計歳入歳
出決算認定について及び議案第99号令和元
年度高崎市水道事業会計及び公共下水道事
業会計利益の処分及び決算認定についての
2議案に対し賛成する討論を行った。



飯塚邦広議員



意見書案2号

新風会提出の
意見書案が可決される

新風会から提出した、意見書2号「精神障
害者の交通運賃割引制度の適用に関する
意見書」が全会一致で採択され、各派代表者
会議の委員を提出者として提出された。

9月定例会の
質問時間について

議会運営委員会において、一般質問30
分・委員会における議員からの質問時間
30分とした。これは、新型コロナウイルス対策が
まだまだ必要なため、新風会からの提案
により決定したものである。各議員に対
し発言の制限は行っていない。

令和3年度予算並びに 施策に対する要望提出

10月8日富岡賢治高崎市長に対し、新風会としての要望書を提出した。要望内容は、重点要望事項として、「新型コロナウイルス感染症対応の強化」について8項目を含め、全体で82件の要望である。



柄沢高男副会長より市長へ要望書提出



会派要望を市長へ説明

本会議場のコロナ対策

9月議会より、本会議場の議長席、演壇席、発言席に透明ポリカーボネートによる飛沫防止パネルを設置した。パネルの構造、固定方法については、新風会の提案により実現した。本会議場に出席する議員、執行部はマスク等の着用を行う。マスク等には、フェイスガード、マウスガードも含まれる。本会議中は出入り口を開き、また休憩を多めに取り換気を行った。



議長席、演壇席、発言席に設置したパネル

大宮登先生 会派研修会

7月14日(火)、第一委員会室において「これからの地域づくり：城山団地の調査をめぐって」と題して、高崎経済大学名誉教授の大宮登先生を講師に招いて研修会を開催した。
現在全国で課題となっている、人口減少、少子高齢化による空き家や子供の数の減少、またコミュニケーション力の低下など城山団地に住む先生本人により半年間かけてヒアリングし綿密に調査した極めて珍しい調査結果を講演頂いた。
現在直面している諸問題に対して新風会と致しても、しっかりと調査研究を重ね、市政に反映出来ればと考えている。



第一委員会室で研修

若狭徹先生 会派研修会

8月31日(月)、第一委員会室において「東国古墳文化の実像―高崎市中心に―」をテーマに、明治文学部史学地理学考古学専攻准教授の若狭徹先生を講師に招いて会派研修会を開催した。講演内容は主に古墳時代の文化財についてのもので、本市には全国レベルでも超一級と評価され、最近、国宝となったものも多数ある。新風会は今後も本市における文化財の保存と活用について取り組む。



第一委員会室で研修



若狭徹先生

新町防災体育館(仮称) 建設工事へ

新町防災体育館(仮称)建設工事請負契約締結の議案が可決された。契約の相手方は、冬木・井ノ上・カワナベ新町防災体育館(仮称)建設工事特定建設工事共同企業体である。契約金額は11億8250万円。
新町地域は高台や高い建物が少ないため、わが国で近年頻発する水害



新町防災体育館(仮称)の完成イメージ

防災体育館概要
鉄筋造3階建て、延床面積は約3000㎡。1階はアリーナ、更衣室、多目的用を含むトイレ、事務室、器具庫、2階は1周約130mのランニングコース、ホール、3階は屋上避難所、ヘリポートを整備。5台の身体障害者用を含む約200台の駐車場も整備する。アリーナは、バレーボール、卓球、フットサル、バスケットボール、バドミントンなど、様々な利用ができる。
主な機能
☆非常時にはプロパンガスや軽油を使った発電機による電力供給が可能。
☆非常食・毛布・携帯トイレなどの防災用品を備蓄可能な倉庫を2・3階に整備。
☆座面を外すと炊き出し用のかまどとして利用できるベンチや組み立て式トイレが設置可能なマンホールを3階に設置。

片山さつき参議院議員 新風会に来訪

新風会の研修会として、令和2年8月11日、参議院議員片山さつき元内閣府特命担当大臣にご来庁頂き、内閣府の「スーパーシティ構想」についてご講演いただいた。

コロナ禍の中「新しい生活様式の確立」と「ビックデータ活用した街づくり」について勉強させていただいた。



第一委員会室で研修



参議院議員と集合写真



片山さつき参議院議員、清水真人参議院議員

一般質問

※以下、質問順で掲載しております。こちらに掲載している内容は、質問答弁の一部です。答弁の全文および録画配信が、高崎市議会ホームページにて随時アップされますので、こちらも是非ご覧くださいませ。

議員発言

執行部答弁



樋口 哲郎

「ごみ行政の取り組み」について

議 本市にある両ごみ処理施設は老朽化が進んでいるが、高浜クリーンセンター建替事業の現在の進捗状況と、吉井クリーンセンターの今後の維持管理等はどのような考えか。

執 将来にわたり市民の皆様は生活環境の保全と適正なごみ処理を行うべく、高浜クリーンセンターの建替えを進めている。また吉井クリーンセンターは、これまで同様、点検及びメンテナンス等を確実に、大切に利用し、稼働を続けていく。

議 今年度に入り高齢者や弱

録画配信 全文掲載



http://takasaki.gjjiroku.com/voices/g07_Shitsumon.asp

者に寄り添った事業「高齢者ごみ出しSOS支援事業」の登録受付を行っていたと思うが、9月1日からスタートした事業の概要や現在の登録世帯数は。

執 事業内容は、市から委託を受けた事業者が利用者宅を週1回訪問し、挨拶と声かけによる安否確認を行いながら無料でごみを収集する事業で、環境と福祉が融合した事業である。利用できる世帯は、ごみ出し困難な70歳以上の者のみの世帯、障害を有する者のみの世帯、早朝勤務や単身赴任等で家族の協力が得られない妊娠期の者及び3歳未満の乳幼児がいる子育て世帯が対象で9月10日現在610件の登録があり、今後は更に周知を図っていく。

議 現在、開発の申請や許可はないが、複数の事業者から複合型商業施設や住宅団地等、数多くの問い合わせや相談が寄せられている。生活利便施設の集積や良好な居住環境の整備を図り、幅広い世代の人たちが暮らしやすいまちづくりに取り組む。

議 平成10年度から27年度は2万人台だったが、28年度から30年度までの3年間で年平均約4万人の入館があった。令和元年度には過去最高の約5万4千人が来館している。今年度から「史跡保渡田古墳群保存活用計画」の策定に向けて専門家による会議等を開催し、古墳群の活用方針や今後の博物館のあり方について議論していく。



青木 和也

「群馬地域における防災と新たな開発について」文化財の保存と活用

議 群馬地域における雨水対策の状況は。

執 西毛広域幹線道路周辺で点在的に大雨による道路等の浸水被害が発生することから、現在推進工法による排水路工事を本年度末を目途に実施している。また、調整池建設のための用地取得を行い、ゲリラ豪雨や宅地化等による雨水対策に努める。西毛広域幹線道路内の雨水排水管や市民活動センターソシアスの雨水調整池等、周辺各所での整備も行っていく。

議 西毛広域幹線道路周辺の開発において、これまでどのような許可や相談があったか。

執 現在、開発の申請や許可はないが、複数の事業者から複合型商業施設や住宅団地等、数多くの問い合わせや相談が寄せられている。生活利便施設の集積や良好な居住環境の整備を図り、幅広い世代の人たちが暮らしやすいまちづくりに取り組む。

議 かみつけの里博物館の入館者の推移と保渡田古墳群の今後の整備は。

執 平成10年度から27年度は2万人台だったが、28年度から30年度までの3年間で年平均約4万人の入館があった。令和元年度には過去最高の約5万4千人が来館している。今年度から「史跡保渡田古墳群保存活用計画」の策定に向けて専門家による会議等を開催し、古墳群の活用方針や今後の博物館のあり方について議論していく。

議 コロナ禍の図書館について



白石 隆夫

コロナ禍の図書館について

議 コロナ休館前後の中央図書館利用状況は。

執 1月から3月は、前年に比べ3%減。再開直後の5月16日から6月末までは、前年比42%減、7月から8月までは27%減にとどまっております。また、中央図書館の感染症対策は。

議 窓口カウンターのビニールシート設置、管内業務中の手袋着用など実施している。また利用者の密を避けるため、閲覧席、学習室の座席数を減らし換気や机の消毒を行っている。

議 臨時休校中の学校図書館の利用状況は。

執 3月の休校では利用はなかった。4月からの再休校では、小学校の約半数で学校図書が利用された。放課後児童クラブの子どもたちも多く利用した。

議 6月の学校再開後の学校図書館の感染予防と利用状況は。

執 学校再開以降、密集を避け、感染予防を行いながら運営している。調べ学習や貸し出し活動、読み聞かせなど順次再開している。



清水 明夫

コロナ禍における貧困世帯の現状について

議 コロナの影響で、倒産企業が増え、失業者が増え、全体の動きも減っている。これから年末にかけてその傾向は顕著になっていくとの見方も強い。コロナ関連の救済制度がどのくらい利用されているのかについてお聞きしたい。

執 住居確保給付金は、離職や給与減少により住居を喪失した方、または喪失するおそれがある方に、一定期間家賃相当額を支給するもの。昨年度は年間23件、212万9700円であったのに対し、今年度は8月末で283件、3099万4300円と増加。

議 次に、特別貸付制度のうち、「緊急小口資金」が2459件の申請金額は4億4536万円。「総合支援資金」が1543件の申請、金額で8億1516万円。

執 介護保険料の減免は、直近で25件、減免総額は、約202万円。国民健康保険税を含めた市税等の猶予の状況といたしましては、許可件数304件、約3.4億円を猶予しているところだ。

議 特にひとり親世帯で、生活保護に陥りつつある世帯が非常に多くいる。カッパラーメンを2日間に分けて食べている世帯。おかずが買えず、しょうゆご飯を食べている世帯などがあつた。今後の取り組みに期待したい。

議 コロナ禍における本市の生活支援体制整備事業について



大河原 吉明

コロナ禍における本市の生活支援体制整備事業について

議 本市では市民の生活支援体制を整備するため、地域住民が社会資源を活用し、お互いに支え合う地域の基盤を作るための場として、協議体という仕組みを市内各所に設置してきたが、コロナ禍におけるその現状は。

執 協議体の定例会議は3月から休止。それから、国や県のガイドラインを参考に協議体再開についてマニュアル化を行い、コロナ対策を行いつつ6月から順次再開。その後、県の「社会経済活動再開に向けたガイドライン」の警戒度が8月から引き上げられたことにより、現在は再び休止中である。

議 コロナ禍における協議体の今後の展望は。

執 協議体の会議が開催できなくても、協議体メンバーが情報共有できる仕組みを検討する。また、コロナ禍による社会の変化を踏まえた、新しい地域交流や社会参加、支え合い活動という視点を追加する。さらに、高齢者の困りごとの収集や支援、地域情報共有、地域での支え合い創出に向けた取り組みを、住民の意向と目指す地域像を大切にしながら、地域住民を中心に、高齢者あしんセンター、社会福祉協議会、市の職員等も参画し、連携、協力して地域の支え合い活動を推進していく。

議 伝統芸能保存活動支援について



丸山 芳典

伝統芸能保存活動支援について

議 新型コロナウイルスの影響で伝統芸能が中断しないために何が必要か？

執 本市には数多くの伝統芸能団体が存在し地域にて活動している。獅子舞、神楽の各連絡協議会が組織され、交流や発表を行っている。今年度は、感染症が拡大する中、全ての団体が活動自粛の状況だ。伝承を担う各保存会は、以前から高齢化や後継者不足といった厳しい中で活動を続けている現状だ。感染症の影響で活動が途絶えないために、継承活動の中心となる地域の人々の思いや力を結集し、行政が側面から支援を行う地域財産を守り育てることが大変重要だ。

議 伝統芸能を地域の努力で伝承していくための市の支援策は？

執 地域特有の伝統芸能を損なわない様、各種支援を積極的に行っている。メニューは、獅子頭や山車、太鼓等の備品修繕・購入経費、伝統芸能継承のための映像記録事業がある。各団体にはこの事業を活用し、継承に役立てていただいているところだ。伝統芸能の担い手相互の情報交換は継承を行う上で非常に重要なことであると認識している。今後も伝統芸能に関する情報を発信していく。伝統芸能は地域の誇りであり大切な宝だ。将来に確実に継承される様支援を行う。

議 小中学校における授業の現状について



片貝 喜一郎

小中学校における授業の現状について

議 今年度も、当該学年の学習内容は、年度内に終えるよう努めることとなっております。市教委では、県の方針を踏まえ、指導内容の重点化を図った指導計画を作成し、基礎的・基本的な学習内容が確実に身に付くよう取り組んでいる。

議 小1、中1への配慮と、小6、中3への授業対応は。

執 入学式1日のみで休校となったため、幼稚園や小学校との引継ぎを丁寧に行い、担任が電話連絡等を行うなど、きめ細く対応してきた。また、最終学年にあたり、進路選択の準備を行う大切な時期と考え、計画的に授業を進めている。中3に対しては受験についての情報提供を積極的に行うとともに、保護者や生徒との面談を適宜行うなど、寄り添った対応に努めている。

議 コロナ禍における高齢者対策について

執 コロナ禍収束後に向けての取り組みは。

議 社会の変化に則した新しい情報収集や共有の方法について研究していく必要があると考えている。

議 元気な高齢者がお互いの生きがいづくりのためのプラットフォームの計画をお願いし、自助から互助そして共助への地域社会の実現に向けてさらなる研究をお願いしたい。

注目される自治体ランキング 高崎市の状況



幸福度ランキング 上位10都市

1位	豊田市
2位	岡崎市
3位	高崎市
4位	富山市
5位	金沢市
6位	長野市
7位	前橋市
8位	豊橋市
9位	柏市
10位	大津市

2020年度版
Happiness Index Ranking

全国48中核市 幸福度 ランキング

寺島実郎 [監修]
(一財)日本総合研究所 [編]
日本ユニシス(株) [システム分析協力]

全国48中核市の「幸福度」ランキング
2020年版 **3**位 (日本総合研究所)

高崎市の幸福度ランキングが高く評価された。幸福度ランキングの調査では、地域の社会的状況、構造を表す6個の基本的な指標と、それぞれの幸福感を計測する尺度として「健康」「文化」「仕事」「生活」「教育」の5分野において33個の指標を設定、合わせて39個の指標を総合して、中核市の「幸福度ランキング」を算出しているとの事だ。

分野別でみると、基本指標が大幅に伸び、前回23位だったのに対して、今回12位に上がった。また、生活分野においては前回9位だったのに対して4位と上昇。生活環境の整備が評価された事が分かる。更に、教育分野が18位だったのに対し11位と上昇しており、教育環境の整備に対しても評価が高まった事が分かる。

上位ランキングを取るために行政があるわけでもありませんし、幸福度は個々の主観によるものでこのランキングを鵜呑みにするつもりもありませんが、こうして全国的な評価が高まり、注目が集まる事は、素直に喜ばしい事だと思ふ。

今後も、更なる市民の幸福度向上に向けて取り組んでいく。

新風会所属議員一覧 ~市政に関するご相談はお近くの議員まで~

 <p>会長 田中 治男 たなか はるお 高崎市八幡原町2054 ☎027-346-3287</p>	 <p>副会長 柄沢 高男 からさわ たかお 高崎市長見町197 ☎027-374-4304</p>	 <p>副会長 松本 賢一 まつもと けんいち 高崎市新町1652-5 ☎090-6033-8421</p>	 <p>幹事長 石川 徹 いしかわ とおる 高崎市箕郷町東明屋106-1 ☎027-371-3344</p>
 <p>副幹事長 後藤 彰 ごとう あきら 高崎市乗附町1563-27 ☎027-328-5100</p>	 <p>政調会長 白石 隆夫 しらいし たかお 高崎市石原町4049 ☎027-325-5983</p>	 <p>副政調会長 飯塚 邦広 いづか くにひろ 高崎市吉井町岩崎687-3 ☎090-5427-2201</p>	 <p>議会対策委員長 時田 裕之 ときた ひろゆき 高崎市浜川町1799 ☎090-4948-4450</p>
 <p>会計 片貝 喜一郎 かたかい きいちろう 高崎市和田町6-3 ☎090-1808-7448</p>	 <p>広報 清水 明夫 しみず あきお 高崎市根小屋町2095-3 ☎050-5375-2532</p>	 <p>会計監査 後閑 太一 ごかん たいち 高崎市十文字町150-1 ☎027-374-0416</p>	 <p>顧問 柴田 和正 しばた かずまさ 高崎市金井淵町259 ☎027-343-7161</p>
 <p>顧問 柴田 正夫 しばた まさお 高崎市下中居町47 ☎027-322-8347</p>	 <p>顧問 丸山 和久 まるやま かずひさ 高崎市江木町1111-1 ☎027-323-8855</p>	 <p>高崎市議会議長 渡邊 幹治 わたなべ かんじ 高崎市倉賀野町1684 ☎027-346-6133</p>	 <p>後閑 賢二 ごかん けんじ 高崎市塚田町222-2 ☎027-373-2214</p>
 <p>根岸 赴夫 ねがし ゆきお 高崎市長中居町407-5 ☎027-326-0635</p>	 <p>大竹 隆一 おおたけ りゅういち 高崎市吉井町片山895-2 ☎027-387-4390</p>	 <p>高崎市議会副議長 長壁 真樹 おさかべ しんじ 高崎市中室田町甲525 ☎027-374-3384</p>	 <p>丸山 芳典 まるやま よしのり 高崎市倉淵町権田138-1 ☎090-2725-0817</p>
 <p>樋口 哲郎 ひぐち てつろう 高崎市吉井町馬庭827-1 ☎090-3245-0195</p>	 <p>大河原 吉明 おおかわら よしあき 高崎市京目町1634-6 ☎090-9385-8680</p>	 <p>青木 和也 あおき かずや 高崎市福島町740-7 ☎090-5442-8248</p>	<p>高崎市議会 新風会 〒370-8501 群馬県高崎市高松町35番地1 新風会ホームページ http://www.shinpukai.com/</p> 